

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	佐賀県	事業実施主体	神崎市	地域再生計画名	幸せつなごうかんどぎ再生計画
計画期間	令和2年度～令和4年度	評価責任者	神崎市下水道課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値			事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度	H30	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数	達成数				
	指標1	市人口減少の抑制	31,668人	H30	31,080人	R3	30,792人	30,907人	R4	30,485人	×	2	1	下水道事業及び浄化槽事業の整備は進んだが、少子高齢化に伴う人口減少の影響も大きく、目標達成には及ばなかった。
	指標2	BOD（放流河川）の改善	4.3mg/L	H30	4.0mg/L	R3	2.0mg/L	3.9mg/L	R4	2.0mg/L	○			下水道事業及び浄化槽事業の整備が進んだことで、公共用水域の水質保全につながり目標を達成することができた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	なし												
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度(H29)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業		24,300m	14,000m	24,600m	当初計画24,300mに対し、最終実績24,600mと計画的に整備を推進することができ、生活環境の改善に寄与することができた。								
	浄化槽（市町村設置型）		210基	138基	207基	当初計画210基に対し、最終実績207基と計画基数には及ばなかったが、浄化槽の整備基数は確実に増えており、生活環境の改善に寄与することができた。								
その他の事業	なし													
計画外で独自に実施した事業	なし													
④評価方法	神崎市総合戦略推進委員会による評価（令和6年2月16日）													
⑤事後評価の公表方法	神崎市ホームページにて公開													
⑥計画全体の総合評価	汚水処理施設整備推進交付金の活用により、公共下水道事業と浄化槽事業を効率的よく一体的に整備することができた。目標としていた市人口減少の抑制については目標を達成することができなかったが、整備が進んだことで放流河川の水質改善については目標を達成することができた。今後とも生活排水施設の更なる整備促進が期待される。													
⑦今後の方針等	今後もこの交付金を活用し、公共下水道事業と浄化槽事業を効率よく一体的に整備することで、人口減少の抑制及び生活環境の改善に努めたい。また、下水道整備区域の接続状況の改善に努め、より快適な住環境の確保と公共用水域の水質保全を図る。													